



みなみっ子

長泉町立南小学校

No. 46

令和元年 11月 22日

学校教育目標 「夢のある子」～めあてをもってがんばる子～

天気にも恵まれた!! 思い出いっぱいの修学旅行。 あいがとうが溢れた6年生。集大成の行事、大成功!

19日(水)の朝。体育館に6年生の笑顔が溢れました。待ちに待った東京への修学旅行のスタートが好天に恵まれたからです。週間天気では、一日目が雨の予報で、一部の6年生は「またか…」と沈んでいた子もいたそうですが、当日は最高の秋晴れ予想の中、南小を出発しました。

最初に着いたのは、上野公園です。例年、上野公園は風が強く、ちょっと肌寒く感じるのですが、まさに**ポカポカ日和**



でした。中には「暑いくらいだよ。」と話している6年生もいました。クジラのオブジェ前で記念写真を撮り、お弁当を受け取ったら、広い上野公園の班別研修にスタートです。国立科学博物館に向かうグループ、上野公園に向かうグループ、さっそくお弁当を食べる場所を探すグループなど、南小6年生があちらこちらに散らばっていきました。国立科学博物館では、日本館、地球館をじっくり見学。特に動物のはく製のところでは目を凝らして見学する子が多かったです。上野動物園では、やはりパンダが人気です。少々待っても**シャンシャン**を見たかったのでしょね。シャンシャンだけでなくリーリーも見ることができたようです。上野公園の出発予定は13:50でしたが、10分前の13:40には、**すべての班が余裕をもって集合**できました。



上野公園

次に向かったのは国会議事堂です。衆議院で実際に議会が開かれていたので参議院を見学することになりました。地元の国会議員さんがみんなに直に国会について説明してくださいました。「国会って、いったい何のためにあるのかな?」という質問にすぐに手が上がり、「**法律を作るところ**」と答えることができました。参議院の傍聴席(マスコミ席のすぐ後ろ)に座り、議場の説明を受けながら、民主主義の意味についても教わりました。世界には民主主義の下で暮らしていない子どもがたくさんいると聞いた時の6年生の表情が大きく変わっていました。



国会議事堂

国会内を歩くときは、「廊下のポスト」「壁の大大理石の中の化石」「大広間の3人の政治家の像」などをじっくり見ました。ここで印象に残ったのは、6年生が議場見学を待っていることです。大人の集団が入ってきました。非常

にぎわがわしています。しかし、6年生は、「**ここは静かに見学すべきところ**」とわかっているのですね。**全く動じず、騒がしさにも流されず、静かに待っている姿が素晴らしかった**です。

国会議事堂をバックに記念写真を撮った後は、今日の最終見学場所、東京タワーに向かいます。例年、集合時刻を守る事が非常に難しい場所です(お土産の会計でたくさんの子がまんでしまうのです)。ちょっと心配をしながらも、**東京タワー**につきました。さっそく、地上150mへクラスごとにエレベーターで向かいます。外の風景がどんどん広がっていくと、「おおおおー!」とみんなの声が高まりました。展望デッキに出ると、少しずつ西側の空が赤くなりかけていくところで、ガラスの床の上でジャンプする仲間がいたり、**大展望をバックに班の写真を**撮ったりしていました。展望デッキに南小の子がいなくなったのを確認して、エレベーターに向かうと、あれっ、いなくなったはずのデッキ



東京タワー

に知っている顔が現れました。「どうした?」とたずねると、彼らは汗びっしょりです。話を聞くと、「階段を下りていったら、まだまだ続く……。これは違う…。と思って階段を上ってきました」ということ。階段で下り始めたのですね。彼らも無事にお土産が売っている3階に下りることができました。

お土産屋さんでは、他校の児童に交わりながら買い物を楽しみました。予算を考えて、お土産を決めている6年生の表情は真剣です。「んー。このペースで集合時間に全員、刻に合うかなあとと思っていると**17:00バス出発の10分前に、これまた全班が集合**できました。これには、学年主任の久保庭先生もニコリ。時間を守って、次の行動に余裕ができるといういい流れがこの旅行にはできていたようでした。時間を守れた嬉しいっぱいにバスに乗り込むとき、外はもう薄暗く、東京タワーが鮮やかなオレンジ色に染まっていた「きれい!」の声が響きました。

ここからは、レインボーブリッジを渡りながら東京の夜景を楽しむ時間。前日に雨が降って空気中の埃が少ないせいか、**夜景の一段ときれいなこと!**お台場の観覧車の光に「あっ、花火みたい!」と声が上がりました。どこのバスでも、みんなの目が輝いていた時間だったでしょうね。バスはホテル三日月へ向かい、東京湾アクアラインへ入っていきます。海面下50m以上の海底トンネルを抜けて、南小6年生一行は、無事にホテルに着きました。

ホテルに着いたら、まずは部屋へ行き、荷物を整頓したら食事の時間です。5階の連絡通路(長さ50m位ある)を渡ると、そこがバイキング会場(南小には畳の大広間が用意されていました)です。お腹ペコペコだったこともあるのでしょう。この食事会



ホテル三日月

場には、**何と10分前でなく15分前(ちょっと早すぎる?)**には全員が集合しました。ここで、ホテルの方に挨拶をし、初日の感想発表などがあり、食事係が「いただきます」をし、食の宴が始まりました(2日間を通じて、集った時のみんなの態度、前で話をする子の準備、そして前の仲間が話し終わったと息の拍手など、最後の会まで素晴らしい取組でした)。

食事の時間のみんなの顔。いい顔をしていました。男子では大皿にカニをたくさん持ってきておいしそうに頬張る子が印象に残りました。女子は、いろいろなスイーツを楽しみ、アイスなどを笑顔で運んでくる表情が輝いていました。ここでも、「食べる時のマナー」「バイキングのマナー」をしっかり守ることができていました。食を心から楽しみながらも、**他のお客さんのことも考えている6年生の姿**が嬉しかったです。しかし、それにしても、たくさん食べました。どの子も…。

食事の次はお風呂です。ホテルのお風呂は、どの子にとってもこれまで入ったお風呂の中で最大の広さのお風呂(温泉)です。男子風呂では数人で歩いたり、泳いだり(泳いでも何の問題もないくらいの広さ・深さです)、熱めの狸風呂に入ったり、**金でできた風呂**に入って富豪気分を味わったりと、お風呂を娯楽場のように楽しんでいました(ここでも他校の6年生と重なりましたが、お互いが使いやすいように心を配っていました)。お風呂でも6年生の素早い行動が目立ちました……が、早さを意識するあまり、ロッカーの場所を間違え、荷物ごと移動する6年生男子が数人いました(大急ぎで荷物を抱えて素っ裸で移動する姿は可愛かったですよ)。

食事もお風呂も時間を守ることができたので、夜の時間にも余裕がありました。6年生全体、見学してわかったこと、思ったこと、楽しかったことを**しおりにしっかり記入しました**。確認を受けたら、自由時間です。トランプをやったり、UNOをやったり、仲間同士でおしゃべりしたりしながら、仲間とホテルの夜を楽しみました。消灯時刻の後、すぐに

眠れたのか、眠れなかったのか、どうだったかな? でも、疲れているせい、どこのフロアも静かになるのは早かったです。

2日目の朝です。朝食会場に行く前には、着替え、荷物の整頓などを済ませます。朝食10分前、ほとんどの班が集まっています。7:00の「いただきます」ちょうどくらいに女子が4人到着しました。何とか時間を守ることができましたが、4人は会場に全員が座って待っているときに入ってきて「まずい!」と思ったでしょうね。これも勉強です。ここでも全体の時間を守る意識が強く感じられました。朝食も和洋多くのおかずがあり、かなりたくさん食べていました。**食後のゼリーをいくつも食べている子**もいました。食事会場から見えた富士山が色も形もとてもきれいでした。

部屋を出るときには、廊下に荷物を置き、並んだ班からチェックを受けていきます。男子も女子も遅くなる班がなく、ホテル三日月を予定通りの時間に出発しました。

2日目の最初は江戸東京博物館です。バスから降りたら、外の風の冷たいこと!前日の暑さから一転して、乾いた空気が晩秋を感じさせました。江戸東京博物館では、江戸の街並みのジオラマを双眼鏡で楽しんだり、人力車や昔の自転車に乗ったり、**昭和の高度成長期の生活用品を見たり**、班で声を掛け合いながら見学しました。昭和50年代の少年自転車(ライト、ギア付き)を見て、「今でも普通にかっこいいと思う」という子がいたり、プリントゴッコを見て「これ、おばあちゃんちにあった!」と話す子がいたり、子どもたちそれぞれの反応が実に面白かった見学場所となりました。



浅草散策

江戸東京博物館の次は、この旅行最後の活動、**浅草自由散策**です。「酉の市」の日と重なり、浅草寺は大賑わいでした。お飾りを持つ人、外国からの観光客などたくさんの人にちょっと押されながらも、6年生は班ごとで昼食を食べに行きました。食事の後は、いろいろなお店で家族へのお土産などを探す姿、雷門で班員と記念写真を撮る姿、メロンパンなどをお店の前で食べる姿などが見られました。浅草では、チェックポイントに「遊園地花やしき」があり、ここでどの子も乗り物やアトラクションを楽しみました。**一番人気は「ディスク・オー」**です。目が回るほどの回転で遠心力で顔もひきつるような乗り物です。これに乗っているときのみんなの顔、興奮で頬が赤くなっている子、目に涙を浮かべている子が何人もいました。中には、並んでいるときに、「見ているだけで気持ち悪くなった」と引き返してくる男子もいました。この「花やしき」では、ディスク・オーのような乗り物に乗れない子に対して

各グループの優しさが感じられました。次はみんなで乗れるものにしようと声を掛け合っている姿には心が温かくなりました。

浅草でバスに乗る前に、ある男子が話しかけてきました。「ああ、終わっちゃう。この2日間で30秒くらいに感じたなあ。」30秒…は言い過ぎでしょと思いつつ、「そんなに楽しい思い出ができて本当に良かったな」と声をかけました。**天気に恵まれて本当に良かった!**そして、6年間の行事の集大成であるこの修学旅行で、時間を守ったり、マナーを意識したり、仲間で声を掛け合ったりと、「楽しむ」のと同じくらい、「しっかりやる」ことも達成できた**6年生、本当に良かった!**この2日間、6年生の「ありがとう」「ありがとうございます」という声がたくさん聞かれました。仲間の活躍時には拍手が響きました。素晴らしい2日間の修学旅行。6年生のみんな!いい旅を仲間と創り上げたね!



江戸東京博物館

帰るぞ。故郷の長泉へ。 浅草寺をバックにパンチャリ。

